

全国

最新改訂版

# 名医 病院

徹底ガイド

どこで検査・治療を受けたいかすぐわかる

監修 | 医学ジャーナリスト

松井宏夫

医師 **5094**人

病院 **1888**紹介

診療科別に必要な情報が満載!

主婦と生活社

## 白内障手術のタイミング

「白内障の手術は怖そうだから絶対いや」と、かたくなに拒否していた人が、その後、眼内レンズ挿入術を受けた。そして、第一声が、「こんなに良く見えるのなら、もっと早く受けるのだったわ」と。

誰にでも加齢と共にやってくる加齢白内障（老人性白内障）での手術のタイミングは、どのような時期が最も良いのだろうか。

「視力で判断するというなら0・6以下になったときでしょう」と、白内障の手術で定評のある東京医科大学病院（東京都新宿区）眼科の白井正彦教授（64）は言う。

もちろん、この条件だけではない。視力は0・6以上であっても外に出るとまぶしくてしょうがない、という人もいる。夜間の車の運転で対向車のライトがまぶしくてたまらない人も。ドライバーなどの場合は、0・6以下になるまで待つというのでは怖いというより、危険である。

「今日では、人それぞれの生活様式に合わせ、視力の低下などが白内障によるものであれば、手術を申し込むのに何の問題もありません。医師は白内障を確認して手術を行います」と言うが、白井教授は次のように付け加えた。「手術の成功は100%保証されるものではありません。だから、しっかりと医師選びを行って受けるべきです」

逆に、手術を先送りしすぎると、それによる問題も生じる。眼内レンズ挿入術では「超音波乳化吸引術」を行うが、その超音波の時間が長くなり、角膜の内皮細胞や虹彩（こうさい）に超音波があたるので、術後の炎症が強くなってしまう。

さらに、「視力が0・1以下になっていると水晶体が硬く、医師にとつて難しい手術になってしまいます。アフターケアも多くなります」

医師と十分に話し合つて的確なタイミングで。

■虹彩 ■カメラの絞りに相当するのが目の虹彩。瞳孔の大きさを変えることで、目に入る光の量を調節している。

白内障の  
名医

- ▼三好眼科（広島県福山市）三好輝行院長
- ▼藤田眼科（徳島県徳島市）藤田善史院長
- ▼聖母眼科（香川県坂出市）永原國宏院長
- ▼林眼科病院（福岡県福岡市）林研院長
- ▼吉富眼科（福岡県太宰府市）吉富文昭院長
- ▼宮田眼科病院（宮崎県都城市）宮田和典院長

# 緑内障 ①

● 谷野富彦 谷野内科病院  
谷野富彦 副院長

40歳以上の17人に1人が発症している

「目の奥から側頭部が激しく痛む」。加えて、「吐き気」に襲われ、実際に「嘔吐（おうと）」してしまう。ちょっと知識があれば、突然死に結びつく「くも膜下出血」と思ってしまう。

「緑内障の急性発作が時にくも膜下出血と間違えられることもありますから、注意が必要です」と指摘するのは、緑内障の治療で知られる西鎌倉谷野内科眼科医院（神奈川県鎌倉市）の谷野富彦副院長（42）。そして、見分け方をアドバイスする。

「目が開けられないほど痛い状態の中、しっかりと目をチェックしますと目が真っ赤で視力が低下。さらに、角膜が曇りガラスのように濁ります。これで緑内障の急性発作とわかります」

緑内障の急性発作は毎年のように医師国家試験に出題されるほど重要なのに、脳神経外科で検査が長びき、失明に至るケースも。

「治療に入るまでに3日以上要すると失明の危険があります。患者さんも頭痛のほかに目の異常も訴えるようにされるといいと思います」

今日では、40歳以上の17人に1人が緑内障を発症しているが、緑内障の約10%は急性発作を引き起こす「閉塞隅角（へいそくぐうかく）緑内障」である。

「目の血液である透明な房水（ぼうすい）の排出口の隅角が詰まったりして眼圧が高くなり、視神経を途切れさせて視野が損なわれ、失明にも結びつく。

詰まる、狭くなるのは隅角以外にも虹彩（こうさい）と水晶体の間ということもある。「目の表面の角膜と、カメラに例えたとレンズの役割をする水晶体との間には、伸びたり縮んだりして目に入る光の量を調整する。絞りの役割の虹彩があります。この虹彩と水晶体の間を房水の循環が悪いと、やはり眼圧を上昇させて視神経を途切れさせ、急性発作に結びつくのです」

緑内障の急性発作は中年以降、遠視の人、女性、東洋人に多いという特徴がある。

■ 視神経 ■ 眼球の奥の網膜に映った視覚情報は視神経によって脳へ伝えられる。神経線維が1点に集められ、管となって脳へ出ていく部分が視神経乳頭部。眼圧が高くなると、この部分で視神経が途切れる。

## 緑内障の 名医

▼秋田大学医学部附属病院（秋田県秋田市）眼科・吉富健志教授

▼赤坂北澤眼科（東京都港区）北澤克明院長（日本緑内障学会理事長）

▼東京大学医学部附属病院（東京都文京区）眼科・新家真教授

▼四谷しらと眼科（東京都新宿区）白土城照院長

▼日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区）眼科・山崎芳夫講師